



総合質管理(TQM)部ニュース

2025年8月号(第25号)



今月は、緩和ケア課とがん化学療法課の紹介です

緩和ケア課

終末期がん患者さんの時間性のスピリチュアルペインのケアについてです。

【心残りや身辺整理に関する気がかりへのケア】

- ①患者にとって重要なことが引き継がれ、記憶され、死後も継続されると感じられることを共に探索する(例:仕事の引継ぎ、家族へ伝えたいこと、ディグニティーセラピー等)
- ②患者が達成したいと願う、未完の仕事の背景にある患者の生き方や価値観を共有する事が重要。

【希望のなさへのケア】

- ①患者の希望を共有し、実現するためにはどうすればよいかを共に考えていくプロセスが重要。
- ②患者が非現実的な希望を抱いていたとしても、否定せずに見守っていく。(例:今、出来る事を共に考える)
- ③患者の希望となるものを共に探索し、実現をサポートすること、希望と保つことをサポートすることが重要。

【人生の不条理へのケア】

- ①「怒り」として表現される場合がある。
- ②その怒りと背景にある思いを理解しようと関わる。
- ③解決できる怒り(問題)であれば対策を講じる。
- ④解決できない怒り(問題)であれば、怒りを感じる前の感情(例:不公平感、無力感など)を同定し、その感情を受け入れられる方法があるかを共に探索する。

【死の不安へのケア】

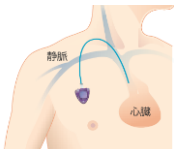
- ①死の不安は自然な感情である事を保証し、不安な気持ちを表出できる環境を作る事が重要。
- ②ケア提供者は、死を受け入れることを目標とはしない。
- ③受け入れられない患者の気持ちを理解しようとしていること、ありのままの患者をサポートしていこうとしていることを示すことが重要。

(文責) 緩和ケア認定看護師 新川 恵美

がん化学療法課

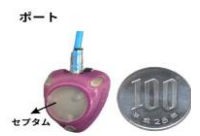
皮下埋め込み型ポート(CVポート)について -基礎編-

- Central Venous access port-



CVポートとは・・・

「皮下埋め込み型ポート」と言われ、中心静脈カテーテルの一種で、100円硬貨程度の大きさの本体と薬剤を注入するカテーテルで構成されています。



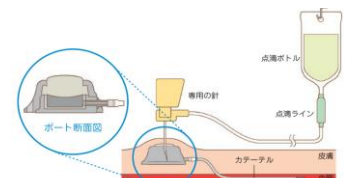
CVポートの適応

- ・静脈確保が困難な場合
 - ・血管への刺激が強く静脈炎を来しやすい薬剤を投与する
 - ・長時間の持続点滴が必要
 - ・長期の抗がん剤治療が必要
 - ・在宅にて静脈栄養、高カロリー輸液が必要
- その他、患者の状態から医師が判断した場合に埋設される

CVポートの構造



ポート上面の中心部分はシリコン製で「セプタム」と呼ばれる。皮膚の上から専用のヒューバー針を刺し、薬液はカテーテルを通過して中心静脈へ投与される。



CVポートは、ポートやカテーテルの種類によって管理方法が異なります。次回はCVポートの管理について掲載します。

*「IVナースプログラム」の動画視聴も開始していますのでご確認ください

(文責) がん化学療法看護認定看護師 佐藤 絵美